

会員増強維持委員会 委員長

鯨井 達生

ロータリーでは初めての委員長ということもありましたが、新藤理事と坂間副委員長に助けられどうにかこなすことが出来ました。会員をご紹介していただいた方々、またお知り合いに入会の声掛けをしていただいた方々に大変感謝申し上げます。1年間どうも有難う御座いました。



会員選考委員会 委員長 田口 修身

職業奉仕担当理事 高橋 真貴子



職業奉仕委員会 委員長 山崎 一祥

国際奉仕担当理事 井上 勝美

国際奉仕部門国際奉仕委員会 松本有祐委員長、シスタークラブ委員会 亀山貴俊委員長の2委員会にて年度計画書に基づき運営して参りました。1年間ありがとうございました。



国際奉仕委員会 委員長 松本 有祐

シスタークラブ委員会 委員長 亀山 貴俊

井上理事のもとシスタークラブ委員会で大変お世話になりました。昨年11月の南投RC訪問では小林会長・岡部幹事をはじめ6名の方にご参加いただきました。1年間ありがとうございました。



社会奉仕担当理事 十文字 裕司

社会奉仕委員会 委員長 吉田 浩士

社会奉仕委員会では、本年度、1つの例会と2つの事業を計画・実施いたしました。

例会では、埼玉県立大宮ろう学園への移動例会を実施し、授業の見学、校長先生による卓話、さらに部活動および寄宿舎の見学を行いました。参加した会員一人ひとりが、改めて奉仕活動の意義と必要性を実感できたのではないかと考えております。また、事業としては、同学園に対し社会奉仕の実践として、地区補助金を活用し体操マットを寄贈いたしました。これにより、体育の授業における器械運動等の際、児童生徒の安全確保に資する環境整備を行うことができました。

さらに、当クラブの野球部会と大宮ろう学園の野球部が混成チームを結成し、ウォーミングアップおよび練習試合を実施しました。交流を通じて、両者の関係性をより深めることができました。試合では、正々堂々と対戦相手であるサイサン様のチームと戦い、スコアにかかわらず、非常に意義のある良い試合となりました。社会奉仕は、実際に体を使って行動することが最も効果的であると考えております。この取り組みを、次年度にも継承してまいりたいと存じます。



環境教育委員会 委員長

竹ノ谷 純宏

11月11日例会にて、埼玉県が進めている「埼玉県SDGsパートナー制度」を取り上げ地区より地域社会奉仕吉田部門委員長・地域社会奉仕三井委員長をお招きし卓話していただきました。SDGsを本人のものとして捉え、個・企業として現在取り組んでいるのか等をアンケート形式で集計しました。結果は、認知度は55%であり約半数の企業は存在すら知らない現状になりました。また制度を行っていない企業は「わからない」を含めると75%におよび、大宮西ロータリークラブの現状が浮き出る形になりました。例会全体の学びでは90%以上の方々から高評価をいただくことができました。アンケート結果から解るように、大宮西ロータリークラブとして数回からの事業展開で終わるのではなく、しっかりと個から集団そして公に繋げ、その過程で様々な団体・企業・行政を巻き込み、手を取り合い持続することの必要性を感じました。「何もしなければ無ですが、1人や小規模でも環境を考え行動し続ければ有に転じます」そんな意識改革の必要性も感じました。そ



してロータリークラブとして環境教育は中長期計画を経て予算を含め準備を行い持続可能な事業展開が望ましいと感じました。

青少年奉仕担当理事 川鍋 洋子

青少年奉仕委員会 委員長 配島 信恵

今年度、スウェーデンより交換留学生のエスキル君を昨年8月に受入れ、こちらからは竹内桃歌ちゃんを送り出しました。エスキル君は10カ月の間、大宮国際中等教育学校へ通い日本の文化を学び、日本語教室にも通い来日当初よりも随分日本語が上手になったと思います。

第1ホストファミリー宅での手探りの生活や様子・悩みを、ホストファミリー全員を含めて委員会を行うことで共有化し、第2・第3ホストファミリーまで無事にバトンタッチできました。何より、ホストファミリーのお子さんを含めてのご家族の纏まりが素晴らしいと思いました。皆に愛される性格のエスキル君を囲んでの数ヶ月、一丸となって共に学び楽しめたと思います。

一昨日、桃歌ちゃんがスウェーデンから無事に帰国しました。一年前、日本を出発してから乗り換えのヘルシンキで荷物が無いと泣きながらお母さんに電話してきたそうです。帰国する時もスーツケースが壊されていて中身が出てしまっている、自身で対応できる程に成長して来ました。今度は安堵感でお母さんの方が涙ぐむ感動の場面もあり、この委員会でしかない貴重な経験ができとても感謝しています。そして、互いの国の将来の懸け橋になりますように、二人の成長が楽しみです。今期で卒業される佐藤真義会員にも、エスキルをイチゴ狩りに連れて行っていただき御礼申し上げます。



インターアクト委員会 委員長 榎本 貞寿

佐藤栄学園吹奏楽部及び総合探求部と連携し本年度も日韓青少年交流 高校生海外研修の受入れをいたしました。関係者各位にご協力いただき、受け入れた学生には浅草見学、茶道の体験、買い物など日本文化に触れていただくことができました。その際ホームステイを快く受け入れていただいた斎藤様、六戸様には誠に感謝申し上げます。訪韓に際してはクラブより助成を頂き、総合探求部の学生2名を派遣することができました。歓迎会では能の披露をし、韓国文化に触れあい、ホームステイ先でも細やかな気遣いを頂き大変感激して帰ってまいりました。次年度は進んでホームステイを受け入れてくれるようです。6月には吹奏楽部の定期演奏会が盛大に開催され、当クラブとしてお祝いをお渡しすることができ、演奏会にも昼夜合わせて22名の方に観覧いただき堪能していただきました。今年度もインターアクト委員会の活動がつつがなく行えました。ご協力いただいた方々に感謝を申し上げ、総括とさせていただきます。



ローターアクト委員会 委員長 齊藤 敏雄

RI方針に乗っとり、当大宮西もアクトを設立すべく、活動しました。open meetingを二度(11/05 & 02/27)開催し、その後の理事会で設立準備委員会の承認を戴き、メンバーを募り、横溝設立準備委員長&次年度アクト委員長の十文字さんに引き継ぐことができました。スタートは、(6)名のアクターで活動していきます。今後ともロータリーアン皆様のご支援をお願い申し上げます。

財団支援担当理事 福田 和子

本年度は、①ロータリー財団、②米山記念奨学、③グローバル補助金の委員会より構成され活動して参りました。グローバル補助金につきましては本年度は大きな動きはございません。進行中です。

ロータリー財団委員会 委員長 円谷 友香

会員の皆様には、財団の仕組みや資金運営を学ぶことの